

教育委員会点検・評価報告書

(平成29年度)

平成30年8月

勝山市教育委員会

1 概要

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成19年6月に改正され、平成20年4月1日から施行されました。

これを受け、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆さんへの説明責任を果たしていく為に行うものです。

なお、具体的な点検及び評価項目や報告書の様式、議会への報告、公表の方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて行うこととされています。

2 点検・評価の方法及び経緯

(1) 平成29年6月定例教育委員会（6月1日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。

(2) 平成29年7月定例教育委員会（7月6日開催）

対象項目を協議するとともに、点検・評価表の素案について協議しました。点検・評価の対象項目を下記3のとおり決定するとともに、点検・評価の方法及び評価例を下記4、5のとおり決定しました。

(3) 平成29年11月定例教育委員会（11月3日開催）

点検・評価の中間取組状況、中間時点の課題等について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(3) 平成30年5月定例教育委員会（5月10日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(4) 平成30年6月定例教育委員会（5月31日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

(5) 平成30年7月定例教育委員会（7月5日開催）

点検・評価の取組結果、成果、問題点、評点について、教育委員会ヒアリングを開催しました。

3 対象項目

(1) 平成29年度勝山市全体の政策（基本目標管理）評価のうち教育委員会関係

(2) 平成29年4月定例教育委員会協議事項の「各課の重要課題と取組方針」

※(2)が(1)に包含される場合は(1)の項目で、包含されない場合は適当な項目を付し対象項目としました。その結果、18項目が評価の対象となりました。

4 方法

- (1) 対象項目ごとに点検・評価表の作成とともに、まず担当課による自己点検・自己評価を求めました。次に、教育部内の横断的な観点も含め教育委員会部局課長による相互点検・評価を求めました。
- (2) 上記(1)を参考資料として教育委員会ヒアリングを実施し、教育委員会(委員5名の合議体)による最終の点検・評価を行いました。

5 評価例

取組目標に対する達成状況を基準にして評価対象の難易度を勘案し、最終的に教育委員会が次の基準(5～1)に沿って行いました。
また、特に評価の過程で点検・論議された課題等について、必要に応じて記載しました。

5	十分な成果があった
4	かなりの成果があった
3	最低限の成果はあった
2	あまり成果がなかった
1	まったく成果がなかった

6 点検・評価にあたって

評点は、難易度を斟酌して付しています。また、課題等は、次年度の目標設定におけるフィードバックを念頭に置き、論議した事項を記載しました。

以上の点検・評価の結果は、各評価対象項目における主な取組内容、評点及び課題等にして一覧表にとりまとめました。

7 おわりに

この制度は、教育委員会が自らの仕事の点検・評価を行い、住民の代表である議会に報告することで、説明責任を果たそうとするものです。

法改正に伴い取り組んでいます。どの作業も試行錯誤の中で行っており、今後、市議会をはじめ市民の皆様方のご意見を参考に、点検・評価の方法や時期等について見直しを重ねる中で、この制度をより良いものにしていきたいと考えています。

また、今回の報告にあわせて教育委員会の構成と教育委員の任期並びに教育委員会の開催回数と内容等についても、添付させていただきました。

平成２９年度勝山市教育委員会の点検・評価表

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
1	教育環境の整備・充実 1 1. 学校再編方針への対応 ①平成３０年度に立ち上げる中学校再編検討委員会に向けて、多様な角度からの分析など準備を整えた。 ②「免許外指導教科の状況や部活動選択肢の減少など」への対応を図り、一部免許外指導教科が解消された。 ③各校の経年データの収集・分析を行い、市議会に報告した。 ④大矢谷冬期分校は、修繕したうえで、地元地区に無償譲渡した。 12月市議会で条例を改正するなど廃校の手続きを行った。 細野分校については解体の方向で検討を進めている。 借地契約解除後の敷地の対応について、原状回復(田)のケース、買収のケースを想定し、概算費用を算出した。 2. 幼稚園のあり方の検討 ①市内教育・保育関係者および学識経験者で構成する検討懇話会を立ち上げて意見交換を3回開催した。 次いで委員を変えて「勝山市立幼稚園のあり方検討委員会」を立ち上げ、諮問に対する答申を得た。 3. 学校給食のあり方の検討 ①学校給食調理師の定年退職者が大量に見込まれていることより、自校方式による給食提供が難しい状況となってくる。 正規職員の調理師の退職不補充の方針により、平成３０年度に向けて新規嘱託職員を4名雇用し、職員体制を整えた。 (平成２９年度末2名退職、平成３０年度末5名退職) 4. 小学校給食費の保護者負担については、大規模校240円/食、小規模校250円/食まで整理できたが、まだ1食10円(年間にして約1,860円/人)の差がある。全小学校を統一していくには、なお検討を要する。	4	・学校給食調理師の職員体制については、平成３０年度末に数名の退職者が見込まれているので、引き続き体制整備に向けて検討が必要である。 ・小学校給食費の保護者負担が大規模校と小規模校との間で差があるという課題に対し、全小学校を統一していくには、なお検討を要する。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
2	教育環境の整備・充実2	4	・学校改修工事や小中学校教室へのＩＣＴ機器の充実については、今後も計画的に実施していく必要がある。 ・学校敷地の賃貸借契約については、税方式での契約更新について理解を得られていない部分がある。更新時期未到来の学校敷地も含めて、検討が必要である。
	1. 学校給食共同調理場に係る建築基準法第48条の特例許可を得て、2学期から、成器西小学校から2幼稚園へ給食を配送している。 2. 学校改修工事等 耐震化事業終了後の学校施設の修繕計画を策定し、所期の計画のとおり実施した。 3. 小中学校教室へのＩＣＴ機器の充実 所期の計画のとおり実施した。 4. 勝山市公共施設用地地代調査委員会の基本方針に基づいて契約更新の実施 ・成器西小学校の地権者には、税方式で契約を更新した。 ・他の学校敷地について、理解を得られていない部分も含めて、検討をしなければならない。		
3	心豊かでたくましい児童・生徒を育てる学校教育の充実	4	・英語教育強化地域拠点事業で培った高いレベルの外国語活動・英語科の授業を維持、更に向上させていくための環境整備 ・不登校の未然防止の取組 ・児童生徒および保護者の情報モラル向上のための取組
	1. 「楽しく分かる授業」の推進と、支援を要する児童生徒に対する個に応じた丁寧な教育の充実 ①後期期学校訪問（10/11～11/22）における授業研究の推進 ②全小中学校に国語・算数数学・理科・社会・外国語活動、英語のデジタル教科書や教材を配置し、教材研究や授業改善に活用。 ③全授業日におけるＩＣＴ機器等を活用した日数の割合について、サンプル調査から各校教員の平均値を算出し、意識付け。→成器南小95%（前年度75%）村岡小94%（前年度84%）鹿谷小95%（前年度95%）勝山中部中75%（前年度59%） ④学期ごとに学校生活アンケートを実施し、教務主任会で分析、授業改善に活用。 「授業は分かりやすい」→小5：1.45ポイント（前年度1.17ポイント）、中2：1.04ポイント（前年度1.01ポイント） ⑤全国学力・学習状況調査の結果をもとに、県教育総合研究所の所員から指導受けながら、子どものつまずきの見とり方やその活かし方などを研修。（10/12）		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	2. ユネスコスクールとして、環境教育、E S D（持続発展可能教育）の推進および小中高の連携を重視した先進的な英語教育の取組 ①ユネスコスクールとして、各校の地域環境や特色に合わせたE S Dプログラムを開発、継承、実践。 ②ユネスコスクール全国大会に、各校から教員1名が参加。(12/3 大牟田市吉野小) ③全小中学校で、大学教授・県教委の指導を受けながら英語授業案の事前検討会および英語公開授業の実施。成器西小(9/19, 10/6)成器南小(10/5, 10/19)村岡小(9/11, 10/12)野向小(10/20, 10/24, 10/30, 11/22)荒土小(11/13, 11/17, 11/24)鹿谷小(10/23, 11/16)勝山中部中(11/6, 11/15) ④小学校・中学校英語授業公開(上記)や勝山高校英語授業公開(11/2)に小中・高双方の教諭が参加。 ⑤全国英語研修会(平成29年度小学校における外国語教育指導者養成研修)での授業公開。(2/28 成器南小、成器西小、村岡小、荒土小、鹿谷小、北郷小) ⑥文部科学省学校訪問: 荒土小 … 授業参観と懇談(11/29) 3. 健全な人間性、人の痛みを理解し人を思いやる心情の涵養。 ①基本的な生活習慣確立に向けて各校ブログ、学校だより、学年学級だより、保護者会等を通じた家庭、地域への啓蒙活動の推進。 ②「くらしの礼儀作法」「かつやまっ子応援プラン・6つのルール」を学校生活の中で活用・実践するよう、後期学校訪問時に各校へ指導。 ③学校いじめ防止基本方針に基づいた学校でのいじめ等の発見・対応の状況を、毎月市教委にて集計、必要に応じて指導の実施。(各校におけるいじめ未然防止のための情報交換会議 12校で年間905回) ④全小中学校における道徳授業の公開。(授業参観日等) ⑤学校訪問時における道徳の授業公開、研究会等の実施。 成器南小(10/19)三室小(10/24)北郷小(10/30)平泉寺小(10/31)勝山南部中(11/2)成器西小(11/6)勝山北部中(11/14)勝山中部中(11/15)鹿谷小(11/16)野向小(11/22) ⑥ボランティア活動の実施。	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	4. 体験活動を通したたくましさ、好奇心、チャレンジする心情の醸成 ①地域における宿泊体験学習の実施。(村岡小わくわく合宿 6/27～6/30、鹿谷小わくわく合宿通学 9/13～9/15、北郷小わくわく合宿通学 10/5～10/7) ②県の助成を受けた「地域と進める体験活動」の推進。(H28 からの参加校：成器西小、勝山北部中 H29 新規参加校：平泉寺小、野向小、荒土小、北郷小、勝山南部中) 5. 勝山の歴史・文化・産業・自然環境の学習を通した、ふるさとへの誇りと愛着心の醸成 ①全小中学校が環境教育・ふるさと教育を柱としてE S Dを推進。 ②地元企業、関係機関と連携した「地域に学ぶ14歳の挑戦」の実施。(10/10～10/12) ③ジオパーク・まちづくり課の支援を受けたジオパーク体験学習の推進。 ・全校村岡山登山(村岡小) ・市内小中学校ジオパーク学習(10校)・・・地層学習・北谷にて城址見学など ・年間を通じての(14回)ジオパーク学習・・・勝山南部中 ④生涯学習課の支援を受けた行事の実施 かつやまこども恐竜LABO・・・11/19 発足式、11/26、12/17、1/20、2/18、3/25 6. 調和のとれた体位・体力の向上と、心と体の健康増進 ①体育授業の積極的な公開と授業力向上、スポーツ大好きふくいっ子事業による実技指導者派遣、スポーツ体験教室の実施。 ②小学校における行間体育や中学校部活動等も含めた持久力向上への取組推進。 ③食育の推進。(総合的な学習の時間、保健体育授業および給食への栄養教諭等巡回時に指導) ④部活動での外部指導者活用の推進。(全中学校) 7. 情報モラル教育、情報リテラシー教育の推進 ①全小中学校で各校スマートルールを活用した指導の実施。 全小中学校で学校だより等を通じた各家庭への周知、協力依頼。 ②保護者との連携強化および保護者会等での情報モラル等に関する研修会・講演会・説明等の実施。(全小中学校) ③福井県県民安全課から発行される情報モラルやネット犯罪等に関するおたよりの活用推進。(全小中学校)	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
3	8. 「福井型18年教育」に基づく保・幼・小・中・高の交流・連携・接続の推進と、より効果的な教育の実現および不登校の未然防止 ①保育所・認定こども園・幼稚園・小学校が連携し、連絡協議会や交流活動を実施。 (2/1) ②中学校・高等学校連絡協議会を通した連携の推進。(11/21、1/30) ③後期学校訪問および英語授業公開時(10/11～11/22)に小・中・高等学校教諭が互いに授業を参観、研究会にて意見交流。 ④学力向上研修会にて小中の意見交流と連携推進。(10/12) ⑤不登校の未然防止に向けた気がかり児童生徒の情報共有と、さわやか教室との連携。 ⑥小・中のスムーズな接続に向けた中学校説明会や中学校体験入学の実施。(2月) 9. 児童生徒が誇りに思う開かれた特色ある学校づくりの推進 ①地域諸行事への参加・参画の推進。→学校生活アンケート「地区の行事によく参加している」小5:1.50ポイント(前年度1.37ポイント)中2:0.76ポイント(前年度0.56ポイント) ②全小中学校で家庭・地域・学校協議会を設置し、年間3回程度実施。(委嘱委員総数110名) ③学校教育の自己点検・自己評価。 小中学校ごとに2学期末に行い、3学期に分析、次年度の計画 ④外部人材の有効活用。(出前授業やゲストティーチャーなど外部人材の活用) ⑤防災避難訓練の実施(村岡小11/7、平泉寺小10/2、勝山南部中10/5、勝山中部中10/24、勝山中部中10/30、鹿谷小10/13、成器南小10/18) 不審者避難訓練の実施(勝山北部中10/5、北郷小10/26、村岡小11/7、野向小10/19) 児童生徒受け渡し訓練の実施(成器西小10/23、野向小10/19、村岡小11/7、鹿谷小10/31)	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
4	「生きる力」を育む市民活動の展開 1. 青少年健全育成推進事業の推進 ①各地区かつやまっ子応援ネットワークの活動に対する補助金申請 16件 ②各種団体の青少年育成活動に対する補助金申請 10件 ③子どもと家族を対象とした実験教室やイベントの実施 11/11「科学実験教室」 福井工業高等専門学校の講師を招き液体窒素の実験を行った。 29名参加 12/3「バルーンアート作り」風船でクリスマスツリーを製作。18名参加 2/10「子どものためのミニコンサート」を企画したが、大雪により中止 ④奥越ブロック合同研修会 1/30 大野警察署少年補導員から少年非行の現状について講演を聴いた。 ⑤「かつやまこども恐竜LABO」の発足と学習について 勝山市の子ども達が恐竜をテーマに様々な学習・活動を行うことにより、恐竜への興味・関心・知識を深めるとともに、ふるさとへの愛着心を養うことを目的に実施した。 11/19 発足 市内小学5年生30人対象 学習会を7回開催 学習内容は、恐竜に関する基礎及び専門的学習、化石調査、化石レプリカづくりなど 県立恐竜博物館、勝山恐竜研究会、NPO 法人恐竜のまち勝山応援隊等の指導の下で行った。 2. 子ども達が豊かな自然や生活文化に触れることができる体験学習の実施 ・小浜市との交流事業 2/17～18 勝山市でのスキー体験を企画していたが、大雪により中止。 ・12/3 市子連対抗かるた大会開催 小学生40名参加 ・3/10 奥越高志地区子ども会育成者懇談会 教育会館にて開催 大野市、勝山市、永平寺町の子ども会育成者による子ども会活動に関する意見交換を行った。	5	・大雪により2月開催の行事が中止となった。今後、冬期間の実施に限らない事業は、開催時期を考慮して計画したい。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
4	3. 子どもの見守り活動の推進 - 子ども重点見守りデーの実施 村岡小学校区：9月21～30日 公民館前交差点で秋の交通安全週間に合わせて、交通安全や挨拶運動の啓発活動を実施 - 見守り隊と保護者の交流、活動周知 鹿谷小学校区：6月2～15日 地区懇談会時に見守り活動者と保護者の意見交換、ふり返りを行った。 - 感謝のつどいの実施 野向小学校区：3月2日 学校へ見守り隊の方を招き全校集会で実施 - 防犯講習 勝山南部中学校：5月23日 警察の方から不審者遭遇時の対応を学ぶ。	5	
5	学習機会と施設の充実 1. 公民館職員の嘱託化について ①平成30年度採用の公民館嘱託職員を募集した。 - 嘱託館長：期間満了及び退職により勝山・平泉寺・村岡・北郷公民館で計4名募集 - 嘱託主事：平成30年度採用計画に基づき遅羽・野向・鹿谷・猪野瀬・勝山・荒土公民館各1名、合計6名募集 ②今年度採用の嘱託主事に対し、月1回、生涯学習課グループリーダーとのヒアリングを行い、行政事務や公民館の各種団体事務等について指導した。 2. 北谷公民館の指定管理について 引き続き、毎月1回NPO法人きただに村及びジオパークまちづくり課とのコミュニティセンター及び公民館の指定管理業務にかかる月例会を実施し、施設管理及び経理、事業運営等について協議した。	4	公民館職員の嘱託化に伴い、正職員から嘱託主事への事務引継の徹底、館長の業務総括の認識強化、本課職員による行政事務等の指導を行う。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
5	3. 生涯学習の機会提供と学習内容の充実 ①勝山市民総合大学 後期の実施状況：36 講座 延べ回数 170 回 延べ受講者数 1,943 人 合計 88 講座 延べ 402 回 延べ 5,274 人受講 (H28：93 講座 延べ 411 回 延べ 5,938 人受講) 生涯学習センターの利用者を対象に講座等のアンケート調査を行い、H30 年度の企画の参考とした。平成 30 年度前期講座をまとめ、3 月第 2 木曜日にパンフレットを全戸配布し受講募集の周知を図った。 ②勝山市生涯学習人材バンク H29 新規登録者 8 名 計 53 名登録 人材バンク利用状況 申請 23 件 公民館を通じて地区の各種団体へ利用を呼びかけた。 ③さわやか大学 ふるさと学科・生きがいと健康づくり学科 計 156 人受講 (H28：164 人受講) 4 月～2 月 30 講座開催 内、一般市民参加可能のオープンカレッジを 12 回開催。 ④公民館学級 各公民館で、地域の特色を活かした公民館学級に取り組んだ。ジオパークや男女共同参画、くらしの礼儀作法、国際交流、国体ダンスなども講座に取り入れた。 公民館全体の実施状況：157 講座 延べ受講者数 3,327 人 (H28:173 件 3,204 人) 4. 各種団体への活動支援について 6 月に委員 14 名による平成 30 年成人式実行委員会を結成し、企画・運営を支援した。今回はふるさと勝山への移住定住をイメージし、勝山市の魅力を新成人に伝えたいとの思いから、県外からの移住者による記念講演会を開催したほか、オリジナルの記念冊子とクーポンを作成し新成人に配布した。 1 月 7 日成人式開催 新成人の出席者数 191 人 (参加率 85%) 第 18 回成人式大賞 2018 成人式企画賞を受賞 (応募総数 81 件)	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
6	文化芸術活動の振興	4	・文化協会加盟団体の減少
	1. 伝統文化の継承 ・市民総合大学において、「左義長の長襦袢づくり」(8回 延べ43人)、「我が家の味を子や孫に」及び「おせち料理」、「味噌づくり」(計3回 延べ72人)を開催した。 ・公民館学級では、地元のさわらび会会員等の協力を得て「味噌づくり」、漬け物や熟れずし等の「伝承料理」、「報恩講料理」などの教室を開催した。 2. 文化芸術活動への支援 ・文化芸術関係団体へのアンケート調査による団体の要望に基づき、会員募集を希望する団体に通知し、回答のあった団体を一覧票にまとめ市民総合大学のパンフレットと共に全戸配布した。 ・文化振興に関する全国大会出場者への激励費の交付 競技かるた全国大会、音楽(フルート)コンクール出場 申請6件 ・勝山市出身の若手音楽家(花田佳奈さん)のピアノミニコンサートの開催を支援した。(12/3)		
7	国際交流の推進	4	・ハワイ青少年交流事業における今後の事業継続について、現在の3月下旬の実施はモアナルアライオンズクラブとしては対応が難しいとの意見があり、日程調整について協議する必要がある
	1. 国際交流員(CIR)の活動及び国際交流事業の実施について 国際交流員が企画・実施する市民や市内在住外国人を対象とした国際交流の講座やイベントを開催したほか、中国との交流を推進する講座等も開催した。 ・英会話教室(毎週月曜日)36回実施 延べ397人受講 ・国際交流サロン:7/9 ハワイピクニックBBQ 50人 10/14 ハロウィンパーティ 40人 ・日本語学習広場(毎月第1・第3水曜日)22回 延べ157人 ・外国人のための行政書士相談 年5回 ・小学校・幼稚園訪問、さわやか大学・勝山市民総合大学の講師 ・中国との交流推進に関する講座 9/30 荒土公民館学級「日中友好 家庭料理教室」14名 地元野菜を使った水餃子づくり、中国の場所や食べ物、観光地等の学習 11/11「家庭でできる薬膳粥と中国茶」勝山公民館と共催 13名 2/4「中国春節イベント 太極拳と水餃子づくり」15名		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
7	2. 青少年交流事業について ハワイ青少年交流事業の実施 ・勝山ライオンズクラブとハワイモアナライオンズクラブの協力の下、3/24～29の4泊6日で13人の中高生、国際交流員、中学校英語担当教員、職員の計16人がハワイ州オアフ島ホノルル市を訪問した。 ・事前学習として8回のワークショップを開催し、ハワイの歴史や文化、英会話、海外渡航や生活面での必要な知識などの学習、自己紹介用のプロフィールブック作成などを行った。 ・ハワイの学生達との交流では、英語で自己紹介、学校生活や勝山の紹介を行ったほか、食事やダンス、レイづくりなどお互いに楽しみながら親交を深めた。	4	
8	図書館機能の充実 1. 子ども読書活動推進計画関連事業の推進 ①ブックスタート事業について 平成29年4月から平成30年3月の受講者は105組（うち定例外受講は25組）であった。この内、関連行事である「赤ちゃんといはほんの日」の告知を行い、参加した者は38組であった。 ②学校図書館への支援 第1期事業（バーコードの貼付と図書情報のデータ化）と第2期事業（背ラベルの貼り替えと図書の配置換え）を終えている南部中校区（勝山南部中、成器南小、平泉寺小、三室小）において、パソコンによる図書管理システムへの移行を開始した。これにより、図書の貸出、返却をパソコンで管理できるようになった。 また、中部中校区（勝山中部中、野向小、成器西小）の第2期事業を終了した 2. 市民ニーズに対応した図書の充実と図書館ネットワークの推進 ①年中行事や時事的な話題を反映した特集コーナーを設け、図書の企画展示を行い、季節ごとに変わる市民の読書ニーズに対応し、利用促進を図った。平成29年4月から平成30年3月においては26件のテーマで企画展示を行った。 ②白山信仰、平泉寺、恐竜化石等勝山市に関連する図書を随時収集し充実を図っている。 H29.4～H30.3 末実績（寄贈・購入）白山信仰・平泉寺24冊、恐竜関係63冊	4	・ブックスタート、赤ちゃんを対象としているので天候や健康状態に左右され、また保護者とのスケジュール調整に課題。 ・転出や終了間際の転入などで受講できない人への取り扱い、ハガキによる通知はしているが、電話番号が登録されていないため直接確認できない人がいる。 ・学校支援、北部中学校校下と村岡小学校は、既存のシステムが導入されており、パソコンOSのバージョンが違うため、移行がかなり困難である。また、北部中学校と鹿谷小学校は既存システムが使用できないため、本の登録等を全て最初から行わなければならない。 ・ゆめおーれ勝山との連携、施設の相互利用では、当館の利用が優先され館内は飲食禁止のため、全ての要望に応えることができない。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
8	③リクエストを受けた図書が勝山市には無いが、他市町の図書館に所蔵がある場合は、積極的に図書館相互貸借ネットワークを利用している。 H29.4～H30.3 末実績 借り受け件数 1,469 冊、貸出冊数 214 冊 (対前年度比 (H28.4～H29.3 末) 借り受け件数 1,488 冊、貸出冊数 179 冊) 3. 公民館や学校への支援 ①積極的な図書資料の活用を奨励している。公民館の図書整備について、各公民館に出向き手にとってもらえる図書の並べ方、廃棄方法等について助言した。 H29.4～H30.3 末 団体貸出利用公民館数 9 館 利用回数 (全館合計) 110 回 団体貸出冊数 (全館合計) 1,638 冊 (H28:1,451 冊) ②先生方の依頼を受け、小学校の学習に関連した図書等の団体貸出を行っている。 クラス単位または学年単位、学校単位での団体貸出を行っている。また、小学生の学年別及び中学生に対して「おすすめの本リスト」を配布するなど、推奨図書の情報提供を行った。 H29.4～H30.3 末 (小学校全体合計) 利用回数 194 回、貸出冊数 3,984 冊 (かつやま子どもの村小中学校合計) 利用回数 72 回、貸出冊数 1,154 冊 (福井県立奥越特別支援学校合計) 利用回数 100 回、貸出冊数 386 冊 4. はたや記念館ゆめおーれ勝山との連携 お互いの広報紙 (図書館側:「図書館からのお知らせ」、ゆめおーれ側:月間行事予定のチラシなど) を施設内に貼り、行事等の周知を図っている。また、ゆめおーれ勝山からの申請に応じ、イベント時の控室として図書館内一室の提供等も行った。今後も相互の利用促進を図り、協力し合っていく。	4	

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
9	白山平泉寺歴史探遊館まほろばの誘客増および継続的な白山平泉寺旧境内の保護・整備 1. まほろば来館者年間3万4千人達成へ向けた誘客増 ・まほろばの連続講座（計5回256名参加）や企画展示、各種ピーアール、1300年効果もあり、平成29年度の最終的なまほろば来館者は、目標の2倍以上の70,078人となり、開館以来最高の人出となった。 2. 白山平泉寺旧境内の整備 第2期整備予定地の構口門跡・堀切部分の整備について、指導委員会の意見を聞く。史跡全体の中で第2期整備地をどの様に見せていくのか方針を決めて整備計画を立てていくべきで、駐車場の問題もその中で検討すべきとの意見をいただく。	5	・平成30年度も引き続き多くの来館者となるような取り組み（平泉寺発掘30周年記念等） ・第2期整備事業の開始時期の検討
10	世界遺産登録の推進 1. 白山・平泉寺開山1300年オープニング期間（7/15～17）の観覧者は1万人 2. 日本遺産への再挑戦：平成30年1月24日、永平寺町と勝山市で申請 テーマ【越前白山麓に息づく「神仏が宿る住まい」 ～禅とともに広がった社寺づくりの技と食文化～ 】	4	
11	歴史遺産の保護、保存、活用の推進 1. 平泉寺出土遺物整理と調査成果公表：平泉寺発掘調査報告書300部刊行 2. 県指定文化財三室遺跡の保存、活用の推進 縄文遺跡資料室の29年度来館者総数187人。トイレ撤去完了。 3. 勝山の歴史の紹介と調査研究：29年度販売実績：『白山平泉寺』416冊、『ものがたり勝山の歴史』上巻140冊、中巻135冊、下巻241冊販売	4	・三室遺跡公園のトイレ新築については、了解の得られていない地権者と粘り強く交渉していく必要あり。

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
12	国重要文化財旧木下家住宅の修繕と管理、活用	4	・旧木下家住宅の管理・活用に関する経費の積み上げ
	1. 組立工事（国庫補助）の円滑な実施と工事のPR ①2月の大雪により、茅葺き工事が2ヶ月分繰り越しとなる。 2. 耐震工事、復元工事発注：復元工事の内容を精査し、変更予定を議会に説明 3. 防火設備、便益施設の実施設設計開始 ①便益施設は文化庁との協議により、建物に併設する形で了解を得る。防火設備は12月の文化庁指導により内容が固まり、30年度工事実施可能となる。 4. 管理・活用団体の立ち上げ準備 ①12月20日に北郷町区長会へ管理活用団体の立ち上げ依頼。		
13	勝山城博物館との連携強化	4	・展示に要する経費が少ない中であって、魅力ある展示会の実施
	1. 勝山城博物館との連携共催展「白山のいざないー泰澄の開いた信仰の道と周辺の世界ー」の開催 ・入館者数について、昨年より約千人増加し、1日の平均人数だと27年に次ぐ数値となる。 ・平成30年度の第5回共催展は、現在、修理工事が進む旧木下家住宅をとりあげることにとする。 2. 勝山城博物館の博物館機能（保管庫、燻蒸庫）の活用 ①展示にあわせて、関連する資料の燻蒸と保管・整理を実施		
14	ジオサイト等の遺産の保全、保護および整備、活用	3	・隣接地権者の要求に対する予算化の検討
	1. 恐竜渓谷100万人（恐竜キッズランド）構想関連事業の推進 ①10月20日の県立恐竜博物館との協議後、用地買収が難しくなっている点は博物館側にも原因があるとの認識から、県としても地権者と交渉を試みるとの話になる。		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
15	自然体験学習・ジオパーク学習の推進	4	・本年度の参加人数の増加の要因は、「恐竜を描こう」図画作品コンクールへの参加者が増えた事によるもので、屋外で活動する自然観察会の参加人数が減少傾向にあるため、子供たちの参加を促すような内容を検討していく必要がある。
	1. 3月末における参加者人数 1, 4 8 7 人 ・秋の谷のブナ林とキノコの観察会 1 0 月 2 9 日（日） 参加者 1 9 人 ・春山残雪登山（取立山） 3 月 1 1 日（日） 参加者 1 0 人		
16	競技スポーツと生涯スポーツの推進	4	・勝山恐竜クロカンマラソンの参加者人数の減少の要因として、平成28年度よりインターネットでの申込みが約200人減少しているのでPRに努めていく。 ・トレーニングルームの利用者数の増加が予測された場合、機器の増設等が検討課題となってくる。
	1. 勝山恐竜クロカンマラソンの充実 参加者数2,000人を目指したが、当日の参加者数1,687人とH28より約200人減少した。 平成30年度の第14回大会は、国体の関係で開催時期が5月20日と、例年より早くなることから、2月中旬に過去の参加者等に案内を送付した。 また、従来のウォーキング（5km）を、君原健二氏監修による君原健二ロード（4.2195km）として整備し、第14回大会当日にセレモニーを行う予定。 2. 勝山市体育館ジオアリーナのトレーニングルーム及びランニングコースの利用促進 ・ランニングコースの利用者数18,743人 ・トレーニングルームの利用者数16,993人 いずれも、目標に達した。 また、トレーニングルームの初心者講習会の受講者数が、3月末で累計1,511人（H28：946人。H29：565人）に達した。 3. 国体に向けた選手の強化と指導者の育成 中間取組状況のとおり実施できた。		

No.	評 価 対 象 項 目	評 点	課 題 等
	主な取組内容		
17	体育施設の整備・充実 1. 既存体育施設の再配置、再整備 B & G勝山海洋センター体育館改修工事は3月で完成し、4月1日に武道場完成式典を行う。また、現武道場は、平成30年6月までの解体を予定している。 2. 長山ナイター照明施設については、平成30年度において、都市公園の整備事業で予算化の予定。 3. B & G勝山海洋センター利用の充実 平成29年度の財団のセンター評価は「A」となる見込み。 4. 国体終了後の勝山市体育館ジオアリーナの管理体制は指定管理を行わず直営方式として、土日、祝日に対応する嘱託職員等の増員を検討していく。	4	・国体終了後の勝山市体育館ジオアリーナの管理体制については、今後、政策ヒアリング等で検討していくこと。 ・勤労者体育館の取り扱いについては、国体の練習会場に使用することから、平成31年度の取り壊しを予定している中で、跡地の利用計画の検討も必要。
18	平成30年国民体育大会の開催 1. 平成30年国体開催の準備について バドミントン競技プレ大会(11月17～19日)も大きなトラブルなく開催できた。また、えひめ国体各大会実施後の事業概要説明会に参加し、情報収集に努めるとともに、競技団体や関係機関、県との協議を継続的にを行い、本大会開催に向けた諸準備を進めた。 2. 国民体育大会の開催に向けた市民意識の醸成と高揚 花いっぱい運動は、各学校や公民館の協力で実証栽培を実施、引き続き来年度の本格実施に向けて各地区区長会や学校等に理解と協力を求めるとともに、道路環境美化活動への取り組みについても協力依頼を行った。 また、市内各イベントでの国体ダンスPR隊「ディノフレンズ」の参加や勝山スポーツフェスティバルを開催し市民への国体PRを行った。 市民ボランティアについては、目標以上の登録者を確保できた。 3. 国体の成功に向けた各種計画の策定を進める 庁内推進委員会や実行委員会各専門委員会を計画的に開催し、本大会競技要項や実施計画を策定、また各種おもてなし計画、市民運動計画の概要を決定した。	4	・クレール射撃競技での装弾・銃砲取り扱い業者の目途はついたが、具体的な販売・保管方法や競技役員等について早急に関係団体と協議し進めなければならないこと。 ・新年度に向けて、花いっぱい運動、道路環境美化活動、炬火リレーなどの実施に関して細部を詰めるとともに、新体制での各地区区長会への説明と依頼が再度必要であること。

【参考】

1 教育委員会の構成 平成29年3月26日から平成30年3月25日まで

職 名	氏 名	教育委員任期
教育長	梅田 幸重	平成29年 3月26日から平成32年 3月25日
教育長職務代理者	島田 さよ子	平成26年 6月27日から平成30年 6月26日
委員	若林 正三郎	平成29年 3月26日から平成33年 3月25日
委員	大久保 千恵	平成27年 4月 1日から平成31年 3月31日
委員	今井 克己	平成27年12月24日から平成31年12月23日

2 教育委員会の開催回数、内容

(1) 開催回数 12回（定例11回、臨時1回）

(2) 内 容 次のとおり

○ 平成29年4月定例教育委員会 平成29年4月6日（木）

議案第1号 平成29年度勝山市育英資金の貸与者について

議案第2号 勝山市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部改正について

議案第3号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

- ・平成29年度教育委員会各課重要課題と取組方針について
- ・3月定例市議会の報告について
- ・互助会会計の決算報告について

○ 平成29年5月定例教育委員会 平成29年5月11日（木）

議案第4号 勝山市立公民館運営審議会委員の委嘱について

議案第5号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

議案第6号 勝山市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の制定について

議案第7号 勝山市生涯学習センター運営審議会委員の委嘱について

議案第8号 勝山市立図書館協議会委員の任命について

議案第9号 平成29年度福井県義務教育諸学校教科用採択に係る決議について

- ・教育委員会の点検・評価の平成28年度評点について
- ・勝山市学校給食事業補助金交付要綱の一部改正について
- ・旧木下家住宅調査整備指導委員会委員の委嘱について
- ・勝山市立幼稚園のあり方検討懇話会について
- ・「福井しあわせ元気」国体・大会ディノフレンズ（花づくり部）の募集について

○ 平成29年6月定例教育委員会 平成29年6月1日（木）

議案第10号 勝山市小中学生スポーツ等派遣事業補助金交付要綱の一部改正について

- ・教育委員会の点検・評価の平成28年度評点について
- ・平成29年度教育委員会の点検・評価について
- ・勝山市立図書館の学校史の切り取りについて
- ・重文旧木下家住宅修理工事の状況と今後の進め方について
- ・クレー射撃プレ大会の開催について
- ・第13回勝山恐竜クロカンマラソンについて
- ・成器西小学校から2幼稚園へ給食を配送することについて
- ・『ものがたりかつやまの歴史 下』の発刊・発売について

- 平成29年7月定例教育委員会 平成29年7月6日（木）
- ・教育委員会の点検・評価の平成28年度評点について
 - ・平成29年度教育委員会の点検・評価について
 - ・勝山市国際交流員の交替について
 - ・平成29年度勝山市ハワイ青少年交流事業参加者募集について
 - ・平成29年度勝山市文化講演会について
 - ・勝山城博物館勝山市連携第4回共催展「白山のいざない」について
 - ・重要文化財旧木下家住宅組立工事請負契約の変更について
 - ・福井県民スポーツ祭激励会並びに勝山市体育協会表彰式について

- 平成29年8月定例教育委員会 平成29年8月3日（木）
- 議案第11号 平成30年度使用教科用図書の採択について
- ・勝山市教育委員会表彰審査会委員の委嘱について
 - ・勝山市附属機関の設置に関する条例の一部改正について
 - ・勝山市子どものための教育・保育に係る利用者負担額に関する条例施行規則の一部改正について
 - ・勝山市青少年健全育成推進大会の開催について
 - ・ウォーターサバイバルゲーム&BBQで夏休みについて
 - ・勝山市文化財保護審議会委員の委嘱について
 - ・17のまちを結ぶ環境美化ウォーキングについて

- 平成29年9月定例教育委員会 平成29年8月31日（木）
- 議案第12号 勝山市立幼稚園のあり方検討委員会設置規則の制定について
- 議案第13号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について
- 議案第14号 勝山市育英資金奨学金返還減免の基準を定める要綱の一部改正について
- ・教育委員会の点検・評価報告書(平成28年度)の提出について
 - ・勝山市文化財保護審議会委員の追加について
 - ・福井しあわせ元気国体ウォーキングプレ大会かつやま恐竜の森ウォークの開催について

・福井レトロモータードライビング2017の開催について

○ 平成29年10月定例会教育委員会 平成29年10月5日（木）

議案第15号 勝山市教育委員会表彰被表彰者の決定について

議案第16号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

議案第17号 勝山市養護学校通学援助事業補助金交付要綱の廃止について

・全国学力・学習状況調査の結果公表について

○ 平成29年11月定例会教育委員会 平成29年11月3日（金）

・平成29年度教育委員会の点検・評価（中間）について

・勝山市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について

・「かつやま こども恐竜LABO」の発足について

・バドミントン日本リーグ2017（勝山大会）兼福井しあわせ元気国体バドミントン競技プレ大会の開催について

・勝山スポーツフェスティバル2017の開催について

○ 平成30年1月定例会教育委員会 平成30年1月11日（木）

議案第17号 勝山市社会教育関連団体の新規認定について

議案第18号 勝山市生涯学習人材バンク登録台帳への指導者の新規登録について

・勝山市立幼稚園のあり方について

・教職員の働き方改革について

・12月定例会市議会の報告について

・平成30年度公民館職員・小学校調理師・教育会館管理職員の募集概要について

・少年少女スキー大会について

・「ニュースポーツ祭」In かつやまについて

・ナイタークロスカントリースキー教室について

・福井しあわせ元気国体プレ大会結果報告と正式競技実施要項及び会場配置図について

- 平成30年2月定例教育委員会 平成30年2月1日（木）
議案第19号 勝山市立中学校再編検討委員会設置規則の制定について
議案第20号 勝山市立学校管理規則の一部改正について
議案第21号 勝山市立幼稚園管理規則の一部改正について
・勝山市立幼稚園のあり方について(答申)の報告

- 平成30年3月定例教育委員会 平成30年2月27日（火）
議案第22号 勝山市社会教育関係団体の認定更新について
議案第23号 勝山市部活動指導員設置要綱の制定について
・平成30年度教育予算（500万円以上工事含む）について
・「勝山市体育協会」名称変更について
・第14回勝山恐竜クロカンマラソン開催について

- 平成30年3月臨時教育委員会 平成30年3月27日（火）
議案第24号 勝山市立中学校再編検討委員会設置規則の制定について
議案第25号 教育部長、スポーツ局長、課長、公民館長の任免について

3 その他

（1）勝山市教育委員会表彰式

実 施 日 平成29年11月3日（金） 勝山市教育会館

概 要 受賞者 40名 5団体

（2）平成30年勝山市成人式

実 施 日 平成30年1月7日（日） 勝山市民会館

概 要 新成人 230名